

あおばっ子ゆうゆうプラザ

会場	開設	令和5年度の活動状況				
		参加人数			開設期間 曜日・数	講座数
青葉小の児童が すくすく育つ ように	2008. 6	子ども (参加率)	実施委員	サポーター	6/22～2/22 木曜 14日 土曜 0日 合計 14日	9
		152人 (73%)	12人	50人		

1 実行委員長・校長先生からのメッセージ

1. = 「令和5年 コロナ5類でゆうゆうは16年目」 =

実施委員長 不破 康史

あおばっ子は外遊びの大好きな子供たちです。ドッジやサッカー、バスケットなどを中心に、全校生徒の70%強の児童が参加してくれました。(勉強の方は大丈夫か心配になります。目指せ文武両道の青葉小。)

この事業を16年間に亘り、その間コロナニモマケズ、猛暑ニモマケズ、冬の寒風ニモマケズ活動を見守り続けてくれますサポーターの皆さんに感謝です。

2. = 「夢と笑顔と元気があふれる あおばっ子ゆうゆう」 =

青葉小学校長 白石 昌孝

「152名の子供たちが参加」、この言葉を聞いた時の驚き！！

でも、ゆうゆうプラザに参加する子供たちの様子を見てみると、驚くことではないことがよく分かります。子供たちは本当にこのゆうゆうプラザの活動を楽しみしていて、純粋に活動を楽しんでいます。子供たちの活動ぶりを見てみると、うれしさがこみあげてきます。

学校の活動に中にも、ゆうゆうプラザに似ている活動があります。それは、クラブ活動です。クラブ活動は、同好の仲間で、共通の興味・関心を追求し、その過程で、自分達で課題を解決していく、そして、自分のよさや可能性を見出し、現在や将来の生活に活かしていくことに大きな意義があります。子供たちも楽しみにしている活動です。

クラブ活動、そして、ゆうゆうプラザの活動でも共通することは、「子供たちの思いを大事にすること」だと感じています。ゆうゆうプラザでは、子供たちのやりたい活動を取り上げていただいたり、運動だけでなく、芸術や文化、学習等から幅広い講座を考えていただいたり、まさに、将来へ向かう子供たちのよさや可能性を拡げていただいています。だからこそ、参加する子供たちの希望に満ちた笑顔と元気がいつもあふれているのでしょう。

そんなゆうゆうプラザを創り出すことは簡単なことではありません。子供たちの輝く未来へ向けて、『ゆうゆうプラザ』を創っていただいている実施委員、サポーターの皆様に深く感謝申し上げます。

2 講座紹介

人気です。トップ5の活動を紹介します

- ① なんといってもドッジボール：開校時からずっと16年間トップを快走中です。「言うこと聞かないよね～」とサポーターの皆さん。でも16年間面倒を見てくれているベテラン揃い。大きな怪我などは皆無、流石です。
- ② 折り紙紙工作：15年のご長寿講座です。指導者の岩木ご夫妻の人柄に負うところが大きいと思います。参加枠の制限をお願いされているのですが、希望者が多くご負担をおかけしています。
- ③ サッカー：指導者の獲得・維持が難しいので、開設には悩みながらのご長寿講座です。安全見守りに軸足をおき、活動は児童の自主性に任せて遊ばせています。
- ④ 絵手紙：安定した人気講座です。現指導者も10年間変わらず、居心地がいいのか複数年続けて活動し、卒業していく児童も結構います。元気な間はお手伝いしますとの気持ちが児童にも伝わっているのだと思います。
- ⑤ ティーベース：バスケット、ダンスを僅差で抜いて第5位に。あおぼっ子はスポーツ系の遊びが大好きなのがわかります。

児童数減少が進む中、仲良し友達と目一杯遊ぶ機会を提供していくことが、あおぼっ子の方向性を示してくれているのだと思います。

3 成果と課題

課題としてこの数年は、後継者不足の壁を乗り越えることができず、未来に不安を感じています。誰でも、いつでも参加できる仕組み作りがテーマです。

資料づくりや、報告事項の簡素化、各種会議や勉強会などの回数、内容、場所なども検討課題となるでしょう。

「空いている時間にお手伝いはします。」「先頭に立ってやるならお断り」があおぼっ子の現状です。あおぼっ子を取り巻く環境が大きく変わることはないでしょう。でも、秘策？はあります。

4 写真集

